

令和元年12月10日

只見町議会議長 齋藤 邦夫 様

総務厚生常任委員会  
委員長 藤田 力

### 総務厚生常任委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務調査事項について、調査経過並びに結果を下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 所管事務調査事項

- (1) 朝日診療所の運営に関する調査
- (2) 人口減少対策に関する調査
- (3) 事務の適正管理と職員の健康管理に関する調査
- (4) 新たな自主財源確保に関する調査

#### 2. 調査の経過及び結果

- (1) 調査事項 所管事務に関する調査
- (2) 調査方法 事務調査
- (3) 調査日 11月6日、11月27日
- (4) 出席委員 藤田力委員長、中野大徳副委員長、鈴木征委員、佐藤孝義委員、山岸国夫委員、齋藤邦夫委員

#### 3. 調査結果及び意見

##### ① 特定検診の受診会場が減る

一会場あたりの受診者100人を目標に受診会場を減らすように求められている。人口減からやむを得ない面もあるが遠くなると受診率の低下が心配される。受診したい人が受けられるように送迎車の確保等検討すること。

##### ② 朝日診療所のスタッフ確保

入院制限により診療収入が2,900万円減の補正が示された。入院制限は今も続いており、早急・確実なスタッフの確保が求められている。医師の4名と看護師の確保が最重要の課題。計画を立て、先を見越した考えで取り組むことが求められる。

##### ③ 防災訓練について

町政施行60周年の一環として実施された。町民、1,274名が参加され一定の成果を上げたが課題や反省も多い。町内には、約400世帯の単身高齢者がいる。町、区、消防団、民生委員等の共同連携を含め、来年以降もしっかりと取り組むこと。

#### ④ 新たな自主財源・人口減少対策

所管事務でありながら具体的な調査に取り組めない課題を話し合いました。その結果、次の提案がありました。

- ・町外に住所のある人が只見町に来て働くケースが見られる。
- ・JR只見線再開通、国道289開通という大きな節目を目前にしている。  
交流人口増による税収増・人口増も期待できる。もっと血まなこになってどん欲に事業に取り組むべきだ。
- ・ふるさと納税、取り組みが消極的だ。只見からの出身者も多い。自主財源も期待できる。積極的な取り組みを期待する。
- ・地場産業を伸ばし、地域を豊かにすることが大事だ。

以 上